

# 取扱説明書

**DAYTONA**<sup>®</sup>

R92601 ①/④

\* この取扱説明書はご使用前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

\* この取扱説明書はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

\* この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

## バイク用スマートフォンホルダー WIDE

商品 NO.

別記

### ■ ご使用前に必ず内容をご確認ください ■

\* この商品の使用をもって本書記載の内容全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ずご確認ください。

### ■ 禁止 ■

- \* 運転者が走行中にスマートフォンやカーナビ、携帯電話などの画面を注視したり、電話機能を使用したりすることは法令で禁止されており大変危険です。前方不注意による重大な事故の原因ともなりますので、法令を遵守し安全運転を心掛けてください。
- \* 設計外径(φ22~29)以外のバー、異形バーへの取り付けは不可。
- \* 設計重量制限(300g まで)を越える機種種の装着は不可。
- \* 商品および装着品が車体部位など他部品に接触する取り付けは不可。

### ■ 実施 ■

- \* 商品開梱時や取り付け・取り扱い時に、パッケージや商品の端面やバリなどで予期せぬ怪我や事故が発生する場合がありますので十分ご注意ください。
- \* 商品開梱の際は、構成部品や外観に不備・異常がないことを必ずご確認ください。万一お気づきの点がございましたら、ご使用前のこの段階でお買い求めの販売店に速やかにご相談ください。
- \* 機種の実機サイズは使用者により異なります。商品の調整可動部や付属部品を有効に活用し、実機にとって最適な装着状態となるよう各部調整したうえで使用を開始してください。
- \* 電源ボタン、カメラ、スピーカー、イヤホンジャックなどの設置位置は機種により異なるため、機能に支障がでる状態での取り付けとならざるを得ない場合があります。事前に十分ご確認ください。
- \* 商品可動部の調整、部品の組み換え、車体への取り付け、機種装着は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- \* 装着機種を外力や雨水などから保護する機能はありません。装着機種の傷つき・防水・防塵対策などは全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- \* この商品および装着機種種の盗難防止対策は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- \* 舗装・未舗装路を問わず、路面の段差を乗り越える際に発生する衝撃の度合いによっては、図らずもロックが外れる場合があります。走行振動対策や商品（構成部品含む）・装着機種種の落下防止対策などは全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- \* 取り付け後約 100km 走行しましたら調整可動部や固定部など各部を点検し、ボルト類の増し締めを行ってください。その後は約 500km 毎に定期点検・増し締めを行ってください。これら作業を怠ると予期せぬ不具合や事故損害が発生する場合があります。
- \* この商品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。ご使用保管環境によらずとも経年変化や使用損耗により素材劣化（サビ含む）が進行し、部品破損など予期せぬ不具合や事故損害が発生する場合があります。走行使用前に商品状態を毎回必ず点検し（調整可動部や固定部、雨水がたまりやすい箇所などは特に念入りに）、異常があれば適宜新品交換（部品または商品）してください。
- \* 走行使用時に商品自体や装着機種に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

### ■ その他 ■

- \* この商品に保証書は付属しません。ご使用にあたり商品自体や装着機種・車両、使用者本人や第三者に如何なる不具合や不利益、事故損害が発生したとしても、当社ではその賠償の責任を一切負いかねます。全て使用者本人のリスクにおいてご使用ください。
- \* 素材と製造方法、製品個体差などにより、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。程度の差につきましてはご了承ください。
- \* この商品は予告なく仕様や価格を変更する場合があります。

### 本商品の特徴

★部はデイトナ仕様のための特別装備です。

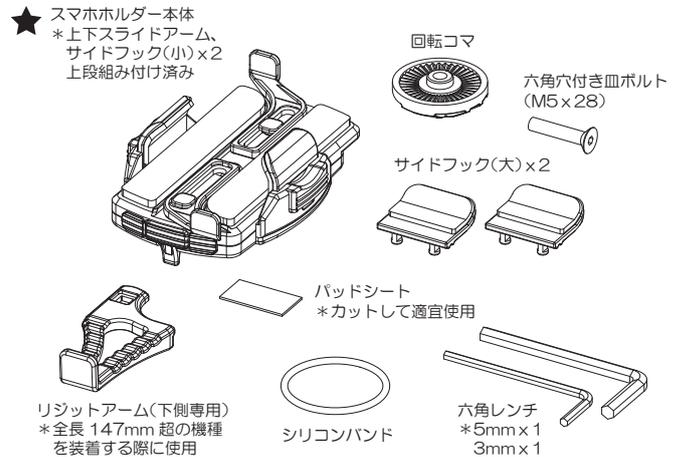
- 箕浦 iH-220-S/520-STD (ボディ中央ねじ留めタイプ) のデイトナオリジナル仕様。ボディ全長を 102mm(上側を約 12mm 延長) とし、ロングセンターパッドにより機種密着座面を増量確保。片手でも操作しやすい小型ウイングロック&リリースボタン、首振りクランプを特別装備。
- 取り付け可能なハンドル外径=φ22~29。
- 装着機種寸法目安(保護ケース類を含む)=幅 55~85mm、厚み 6~18mm、全長 110mm 以上、重量 300g 以下。機種に合わせて商品可動部の調整固定、部品組み替えを行い装着。

### 商品ラインアップ

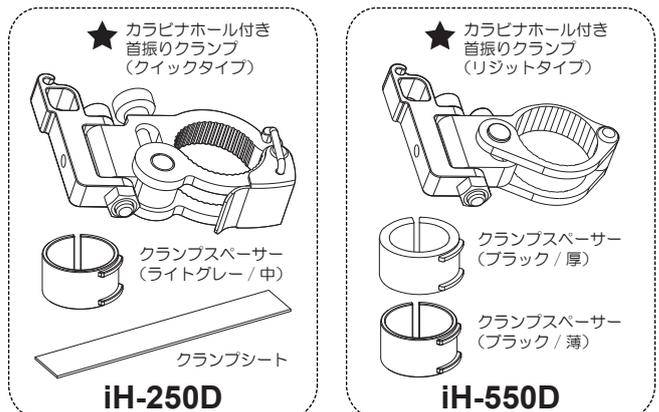
商品名	品番	税抜価格
バイク用スマートフォンホルダー WIDE iH-250D(クイック)	92602	¥4,300
バイク用スマートフォンホルダー WIDE iH-550D(リジット)	92601	¥4,300

### 商品構成

★部はデイトナ仕様のための特別装備です。

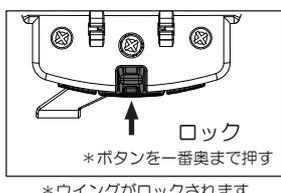
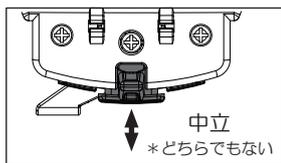
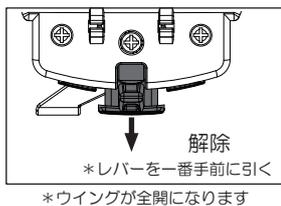
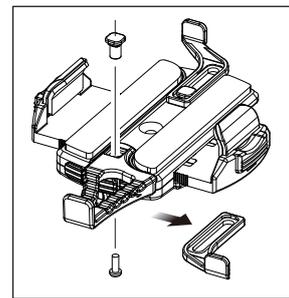
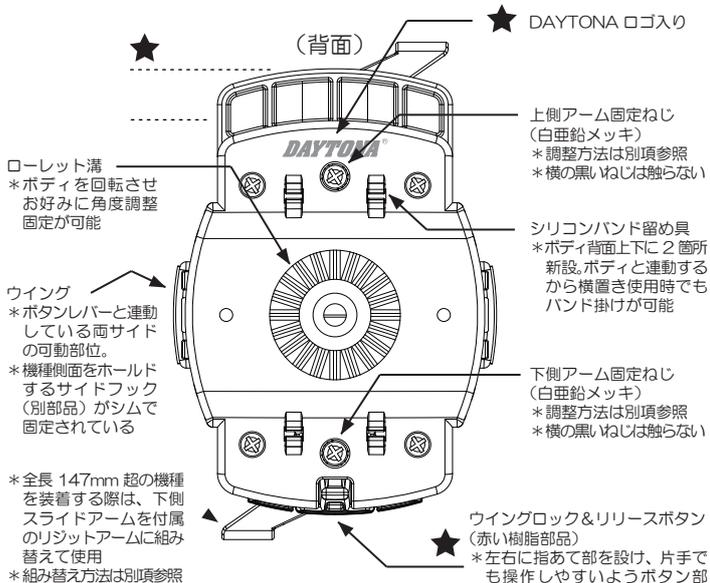
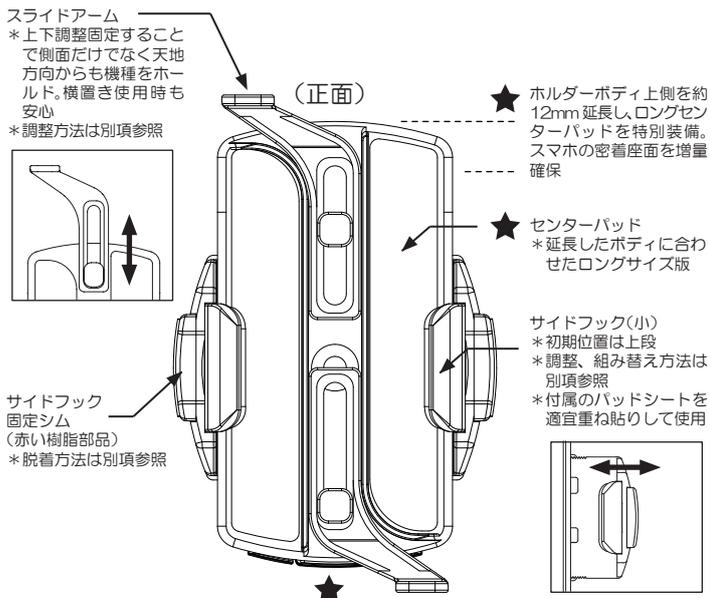


\* iH-250D と iH-550D は以下の部品構成が異なります \*



各部名称説明

★部はデイトナ仕様のための特別装備です。



<ボタンレバー位置は3段階あり>

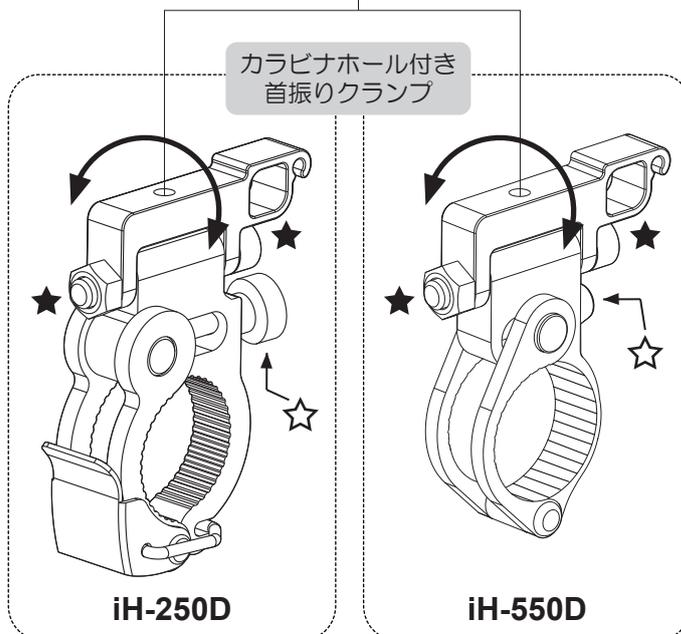
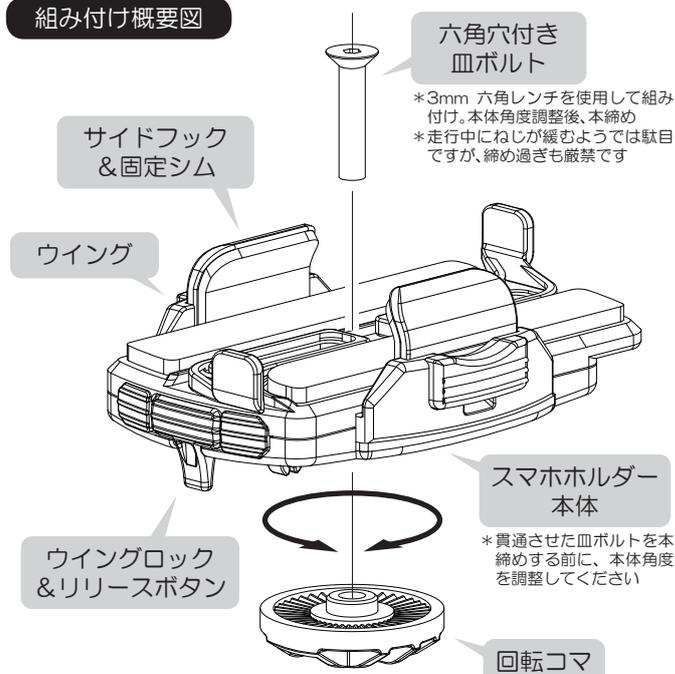
⚠ ロックした状態からウイングをさらに押し込まないこと

\*レバーロックが解除され中立になるため、そのまま使用すると機種脱落などの原因となります。ボタンを再度奥まで押し込み、ロックし直してからご使用ください。

⚠ 走行使用前に毎回必ずロックを確認すること

\*ホルダーに機種を装着し、ウイングを押し込みしっかりとホルダーさせた後は、必ず「最後にロックボタンを押し込む」操作を忘れずに行ってください。

組み付け概要図



\*5mm 六角レンチと 10mm レンチ(別途用意)を使用して、上図★印の六角穴付きステンレスボルト(M6)とナイロンロックナット(M6用)を緩めることで、クランプの首振り角度を調整できます。調整後はボルト&ナットを必ず本締め固定してください。尚、これら作業時はステンレスボルトのねじかじり(焼き付き)に十分注意してください。  
\*付属のクランプシートやクランプスペーサーはハンドル径に合わせて適宜使用。  
\*☆印のスペシャルボルトの調整固定方法は別項参照。

シリコンバンド装着の重要性

⚠ シリコンバンドを正しく装着使用することで、走行使用時の不意の機種脱落を抑止します。ホルダー本体裏側に設けられたバンド留め具(上下2箇所あるうちの何れか)、または首振りクランプのカラビナホール上に設けられたバンド留め具に必ず装着し、ホルダーごと機種を巻き付け、確実に固定しただえでご使用ください。

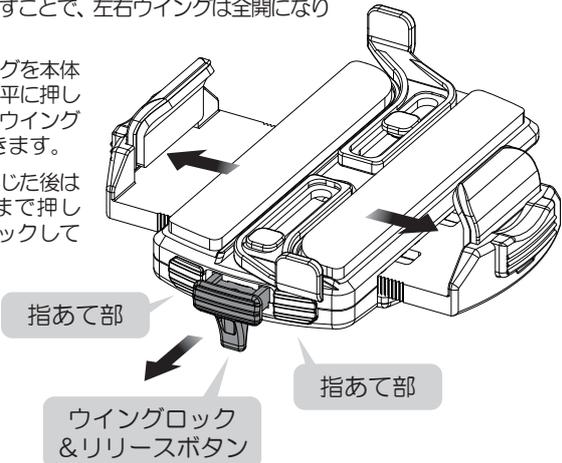
⚠ シリコンバンドの使用損耗状態は走行使用前に毎回必ず確認してください。亀裂の入ったバンドでの商品使用は厳禁です。速やかにバンドを新品交換してください。

### ウイングの開閉操作

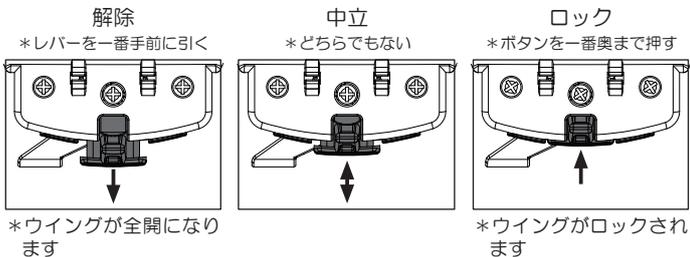
ウイングロック&リリースボタンのレバーを一番手前に引き出すことで、左右ウイングは全開になります。

開いたウイングを本体側内側に軽く水平に押し込めば、左右ウイングが閉じていきます。

ウイングを閉じた後はボタンを奥まで押し込み、必ずロックしてください。



<ボタンレバー位置は3段階あり>

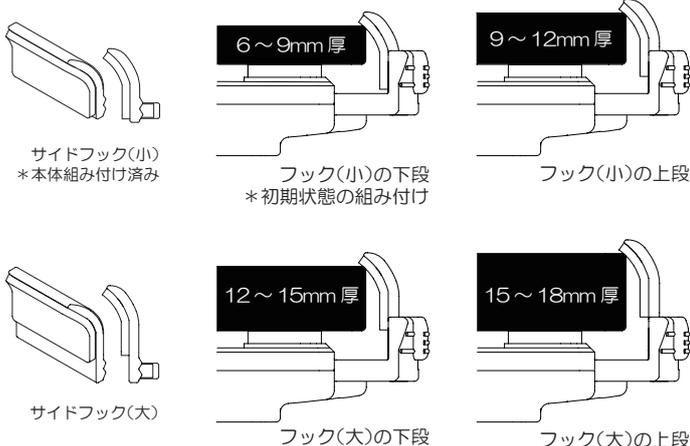
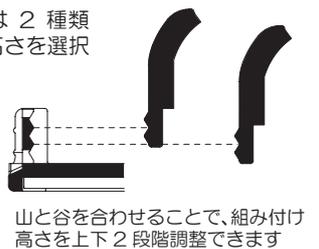


- !** サイドフック部を持ってウイングを閉じないこと  
 \*ウイングを内側に閉める力が直接サイドフック部に掛かると、ウイングのシム固定部やサイドフックのピンなどが破損する原因となります。
- !** ロックした状態からウイングをさらに押し込まないこと  
 \*レバーロックが解除され中立になるため、そのまま使用すると機種脱落などの原因となります。ボタンを再度奥まで押し込み、ロックし直してからご使用ください。
- !** 走行使用前に毎回必ずロックを確認すること  
 \*ホルダーに機種を装着し、ウイングを押し込みしっかりとホールドさせた後は、必ず「最後にロックボタンを押し込む」操作を忘れずに行ってください。

### サイドフックの選択

ウイングに組み付けるサイドフックは 2 種類 (大小)あり、各々 2 段階の組み付け高さを選択できます。

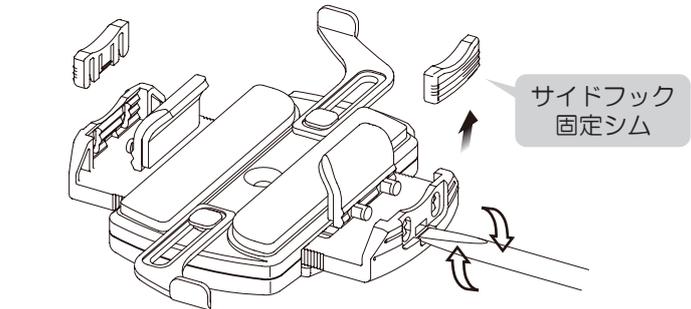
\*組み替え、調整方法は別項参照。  
 装着する機種の厚みに合わせて適切なサイドフック形状、組み付け高さを選択してください。(下図参照)



### サイドフックの組み替え

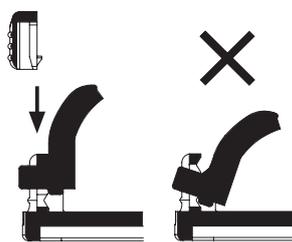
ウイングを全開にし、サイドフックをパッド側から真っ直ぐしっかり押さえつけ、固定シム(赤い樹脂部品)下に設けられた凹穴にマイナスドライバ(別途用意)の先端を押し込み、左右に軽くこじりながら少しずつ部品の動きを外し、固定シムとサイドフックをウイングから取り外します。

\*作業は慎重に行なってください。サイドフックのピンが破損する原因となります。



組み付け高さを確認のうえ(山と谷を確実に合わせる)、サイドフックをパッド側から真っ直ぐしっかり押さえつけ、外側に飛び出したピンに固定シムを元通り組み付け、固定します。

固定後は各部品に異常がないことを必ず確認してください。



**!** 山と谷がずれている、押し込み/挿入が浅い、傾いている状態でシムを組み付けると、サイドフックのピンが折れます。

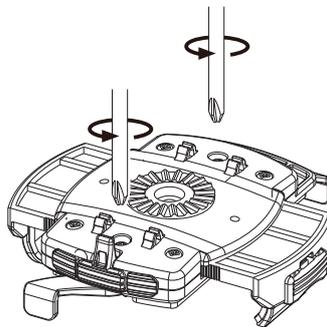
\*無理な作業は厳禁です。部品を壊す前に作業を最初から見直してください。

### スライドアームの位置調整

装着する機種の天地サイズに合わせて、予め上下スライドアームの位置調整を行います。

プラスドライバ(別途用意)を使用して本体裏側にあるアーム固定ねじ(中央の白亜鉛メッキねじ)を軽く緩めると、スライドアームを動かすことができます。

\*ねじを完全に取り外す必要はありません。



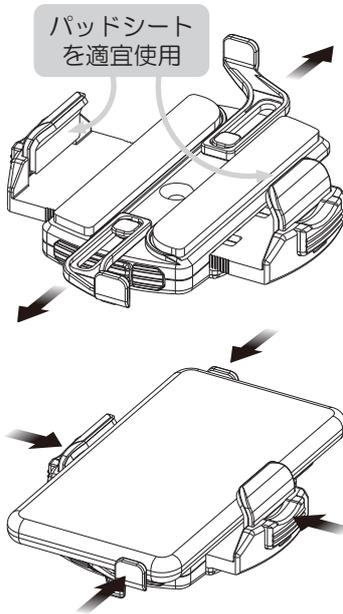
**!** 左右の黒いねじは絶対に緩めないこと  
 \*本体が分解してしまいます。

ウイングを全開にし、スライドアームを上下に十分引き出した状態で、装着する機種をホルダー中心部に置き、ウイングを閉じて仮固定します。

\*装着する機種は、できるだけ天地左右で隔たりのない状態で固定してください。

ウイングを閉じた際、機種の電源ボタンやボリュームボタンなどが押されて支障がでる場合は、付属のパッドシートをカットし、フックのパッドに重ね貼りして接触を回避してください。

機種に押し当たる位置まで上下アームを内側に移動させ、位置がずれないように注意しながら背面のねじを各々締め、上下アームを固定します。

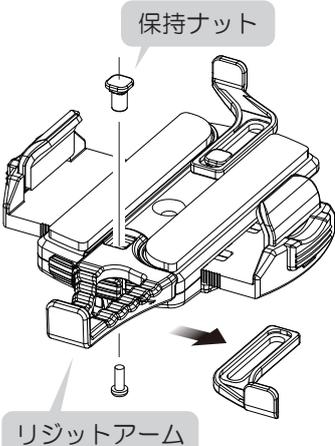


- !** アームのねじれ組み、適切でない工具使用は厳禁  
 \*部品破損の原因となります。
- !** アームを最大限伸ばした状態での使用は非推奨  
 \*アーム破損の原因となります。

### アームの取り外し、組み換え

iPhone Plus など、全長が 147mm を超え 163mm までの機種を装着する場合は、下側スライドアームを付属のリジットアームに組み替えてください。

\*構造上、リジットアームは本体下側(ウイングロック&リリースボタンがある側)にしか取り付けできません。また、このアームは位置調整できません。



プラスドライバー(別途用意)を使用して本体裏側の下側アーム固定ねじ(中央の白亜鉛メッキねじ)を外し、下側スライドアームと保持ナットを取り外します。

**!** 左右の黒いねじは絶対に緩めないこと  
\*本体が分解してしまいます。

保持ナットを予めリジットアームに組み付けておき、アームを本体にあてがい、裏側からねじを締めてアームをしっかり固定します。

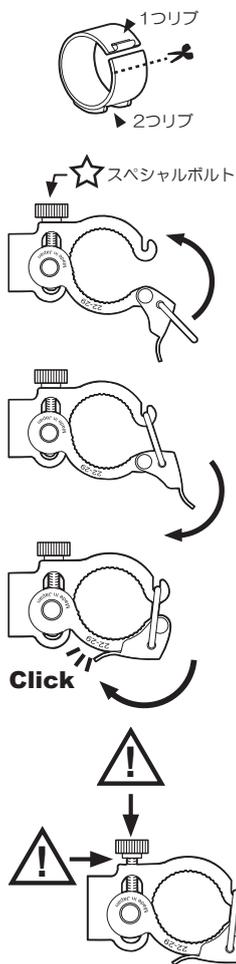
**!** アームのねじれ組み、適切でない工具使用は厳禁  
\*部品破損の原因となります。

**!** 構造上、全長が 163mm を超える機種を装着する場合は、下側はリジットアーム使用、上側はスライドアームなしでご使用いただくことになります。

\*上側アームを取り外して使用する場合、保持ナットは再度本体に組み付け直さず、必ず本体から取り除いた状態でご使用ください。部品紛失や破損の原因となります。

**!** 上側アームなし状態での機種ホールドは左右 / 下の 3 点支持となります。横置き使用する際は特に注意が必要です。シリコンバンドを必ず装着し、全て使用者のリスクにおいて行ってください。

### iH-250D 首振りクランプの組み付け



ハンドル外径に合わせて以下の部品を選択します。ハンドル側には 30mm 以上の組み付けスペースが必要です。

- φ22 ~ 25.4 : クランプスペーサー
  - φ25.4 超 ~ 29 : クランプシート
- \*φ22.2 ハンドルにスペーサーを使用する場合は、図のように 10mm ほどカットしてください。

ハンドルに上記部品をあてがい、レバーを十分に起こしたクランプをその上に重ね置き、2本アーム先端に設けられたリングをフックに掛けます。

\*クランプ開き幅は予め仮調整しておきます。  
\*スペーサー使用時は組み付け向きに要注意。1 つリブが 2 本アームの開口部に、2 つリブが 1 本アーム側に確実に掛かる位置で正しく組み付けてください。

倒し込むレバーがちょうど中間地点にきた時にぐっと重くなるように、スペシャルボルトの頭を指で回し、抵抗感を最適に調整してください。

\*締め過ぎは厳禁。部品破損の原因となります。  
レバーを最後まで倒した際に、適度な抵抗感で「パチン」と音を立てて閉じ、クランプ全体が動かず固定されていれば正しい状態です。

「パチン」と音がしない、ボルトの頭とクランプの間に隙間が生じる、クランプ全体が動いてしまう、抵抗が強くて閉じられない場合は問題があります。一旦レバーを起こし、スペシャルボルトの頭を指で回し、レバー倒し込みの抵抗感調整を再度やり直してください。

\*クランプを閉じてからスペシャルボルトを増し締めるのは厳禁です。閉じたクランプの締め付けが緩む原因となります。  
\*組み付け後、スペシャルボルト周辺を十分脱脂してください。油分があるとクランプの締め付けが緩む原因となります。

### iH-550D 首振りクランプの組み付け



ハンドル外径に合わせて以下の部品を選択します。ハンドル側には 20mm 以上の組み付けスペースが必要です。

- φ22 : スペーサー(厚)
- φ25 : スペーサー(薄)
- φ29 : スペーサーなし

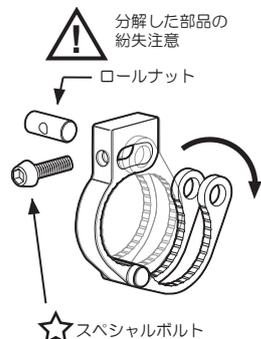
5mm 六角レンチを使用して既に組み立て済みのクランプを一旦分解し、左右アームを十分開いておきます。

\*分解した部品の紛失には十分注意してください。紛失した場合、部品は有償支給となります。

ハンドルにスペーサーをあてがい、その上にクランプを被せ、分解した部品を元通り仮組みします。ホルダー本体の組み付け方向はこの段階で予め想定しておいてください。

\*スペーサー使用時は組み付け向きに要注意。1 つリブが左右アームのヒンジ側に、2 つリブが 1 本アーム側に確実に掛かる位置で正しく組み付けてください。

\*ロールナットはクランプ本体と左右アームを貫通するよう組み付けます。ボルトの斜めねじ込みを防止するため、ロールナットのねじ孔はクランプのボルト挿入孔に正しく向けてください。



スペシャルボルトをクランプのロールナットに組み付けます。まずは手締めで軽く 3 回転ほどねじ込み、ボルトがまっすぐ無理なくねじ込めることを十分確認した後、最終的に 5mm 六角レンチを使用してしっかり締め、固定します。

\*最初から六角レンチを使用してボルトを締め込まないでください。ボルトが斜めにねじ込まれると、ロールナットのねじ孔が破損します。  
\*締め過ぎは厳禁。部品破損の原因となります。

ボルトがまっすぐ挿入固定され、クランプ全体が動かず固定されていれば正しい状態です。

ボルトのねじ込みが斜めになる、ボルトの頭とクランプの間に隙間が生じる、クランプ全体が動いてしまう場合は問題があります。クランプを再度分解し、仮組みから手順をやり直してください。

\*組み付け後、スペシャルボルト周辺を十分脱脂してください。油分があるとクランプの締め付けが緩む原因となります。



### クランプの首振り角度調整

調整箇所は別項「組み付け概要図」参照。

5mm 六角レンチと 10mm レンチ(別途用意)を使用して、六角穴付きステンレスボルト(M6)とナイロンロックナット(M6 用)を緩めて角度調整します。

**!** 調整後はボルト&ナットを必ず本締め固定してください。また、これら作業時はステンレスボルトのねじかじり(焼き付き)に十分注意してください。

**DAYTONA**<sup>®</sup>

販売元 株式会社 **Daytona** 静岡県周智郡森町一宮4805  
TEL 0120-60-4955 (平日午前9時 ~ 午後6時)  
製造元 **MINOURA** 株 箕浦

\*本書の記載内容の一部または全部を無断転用することを禁ず。